

東日本大震災 ピースボート災害ボランティア 関連情報

2011年11月22日

石巻市で、4万7千人のボランティアをコーディネートしたNGOピースボート 『大学・NGO・市民がつくる災害ボランティアシステム』 ～ 12/1(木) 名古屋・中京大学で講演会 ～

東日本大震災の発生から8ヶ月以上が経ち、被災地での活動は緊急支援から復興に向けた息の長い支援へと変わりつつあります。同時に、地震列島かつ台風の通り道である日本に暮らす私たちは、来るべき大災害にどう備えるのか、を真剣に考える時期にあると感じています。12月1日、これまでの東日本大震災での災害ボランティア活動を振り返るとともに、これからの課題を探る講演会を実施する運びとなりました。

最大の被災地のひとつとなった宮城県石巻市では、地元組織と大学、NGO/NGOが連携することで、「石巻モデル」と呼ばれる大規模ボランティアの受け入れ体制を整え、これまでにのべ20万人を超える人々の力を結集してきました。その中で、最も大きなボランティアを組織したピースボートでは、10月末までに47,000人の活動をコーディネート。70社にのぼる企業ボランティアや約50ヶ国からの外国人ボランティアを含め、1日平均200人が炊き出し、泥かき、仮設住宅での支援などを続けてきました。

震災当初「ボランティアは時期尚早」という意見が多かったように、今回の震災で明らかになった課題はふたつ。従来の社会福祉協議会システムに加えた大量のボランティアを受け入れる新しい仕組みをつくること、そして圧倒的に不足している現場のボランティアリーダーの人材を輩出しそのネットワークを構築すること。ピースボートでは、この11月より、中京大学の先生方にもご協力いただきながら、「災害ボランティア・リーダートレーニング」を開始しました。

「きちっと組織されていれば、1人でも多くのボランティアが、1人でも多くの被災者の役に立つ。」この震災で、改めて実感したことです。次の大災害での被害を最小限にするためにも、広くそのノウハウを共有し、各地で新しい取り組みが立ち上がることが必要です。ぜひイベントの事前告知、当日の取材・報道など、後方支援のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■ 昼の部 『中京大学現代社会学部 学術講演会』 ※一般参加も可能ですが、主に学内対象プログラムです。

- 【テーマ】 東日本大震災における災害ボランティア活動の現状
- 【主催】 2011年12月01日(木) 13:30～15:00
- 【場所】 中京大学豊田学舎9号館2階 大会議室
- 【参加】 無料、定員100名(事前予約不要)
- 【主催】 中京大学現代社会学部・大学院社会学研究科
- 【進行】 成元哲(中京大学教授)
- 【講師】 中原一歩(フリーライター)、小林深吾(ピースボート災害ボランティアセンター)

■ 夜の部 『大学・NGO・市民がつくる災害ボランティアシステム』 ※一般対象

- 【テーマ】 地域の防災システムの構築とNGOとの連携について
- 【主催】 2011年12月01日(木) 18:00～20:00
- 【場所】 中京大学名古屋キャンパス センタービル7階0703教室
- 【参加費】 無料、定員150名(事前予約不要)
- 【主催】 中京大学国際教養学部
- 【進行】 金敬黙(中京大学准教授)
- 【講師】 小林深吾(ピースボート災害ボランティアセンター)、近藤圭(青山学院大学ボランティアステーション副代表)ほか

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター
TEL:03-3363-7967 FAX:03-3362-6073 MAIL:kyuen@pbv.or.jp